

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成24年 5月 22日

愛知県知事 殿

提出者

住 所 春日井市御幸町1丁目3番地の21

氏 名 中日クラフト株式会社

代表取締役 毛利 陽一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0568-31-4005

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中日クラフト株式会社
事業場の所在地	愛知県春日井市御幸町1-3-21
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	24：金属製品製造業
②事業の規模	143,011万円
③従業員数	90人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	クロムめっき処理工程 剥離・酸活性処理：腐食性廃酸→中間処理業者に委託して中和・脱水後埋立 脱脂処理：特定有害アルカリ→中間処理業者に委託して中和・脱水後埋立 クロムめっき処理：特定有害廃酸→再生処理業者に委託して、クロム製品に再生 →中間処理業者に委託して中和・脱水後埋立 ：特定有害汚泥→最終処分業者に委託して埋立処分

(日本工業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図) I S O管理責任者 (工場長) I S O事務局 ┌─── 研究開発室 (特別管理産業廃棄物管理責任者) └─── 総務部 (産業廃棄物管理責任者)	
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
①現状	【前年度 (平成 23 年度) 実績】
	特別管理産業廃棄物の種類 別紙1-①のとおり
	排 出 量 別紙1-①のとおり
	(これまでに実施した取組) クロムめっき液の素焼き法・空電解による不純物除去を行いめっき液更新間隔を延長する。
②計画	【目標】
	特別管理産業廃棄物の種類 別紙1-②のとおり
	排 出 量 別紙1-②のとおり
	(今後実施する予定の取組) ・設備増設によるクロムめっき液の素焼き法・空電解による不純物除去効率の強化。 ・イオン交換樹脂により重金属除去を行い塩酸処理液の更新頻度を延長する。 ・めっき液・前処理液の長寿命化に関する技術調査。
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（平成 23 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t
	（これまでに実施した取組） 特になし	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t
	（今後実施する予定の取組） 特になし	
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度（平成 23 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t
	（これまでに実施した取組） 特になし	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	— t
	（今後実施する予定の取組） 特になし	

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項		
①現状	【前年度（平成 23 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t
	(今後実施する予定の取組) 特になし	
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（平成 23 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙2-①のとおり
	全処理委託量	別紙2-①のとおり
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙2-①のとおり
	再生利用業者への処理委託量	別紙2-①のとおり
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙2-①のとおり
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙2-①のとおり
	(これまでに実施した取組) 特定有害廃酸に関して、計画的な液更新を行い、再生処理業者または優良認定処理業者に処理委託することで、最終処分量の低減をはかる。	

②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙2-②のとおり
	全処理委託量	別紙2-②のとおり
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙2-②のとおり
	再生利用業者への 処理委託量	別紙2-②のとおり
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙2-②のとおり
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙2-②のとおり
	(今後実施する予定の取組) ・ 出来る限り優良認定処理業者・再生処理業者を選定する。 ・ 再生利用業者の情報収集を行う。	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

【別紙 1 - ①】

【前年度（平成 23 年度）実績】				
特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	特定有害アルカリ	特定有害廃酸	特定有害汚泥
排 出 量	43 t	0 t	132 t	3 t

【別紙 1 - ②】

【目標】				
特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	特定有害アルカリ	特定有害廃酸	特定有害汚泥
排 出 量	30 t	30 t	90 t	2 t

【別紙 2 - ①】

【前年度（平成 23 年度）実績】				
特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	特定有害アルカリ	特定有害廃酸	特定有害汚泥
全処理委託量	43 t	0 t	132 t	3 t
優良認定処理業者への 処理委託量	43 t	0 t	60 t	0 t
再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t	55 t	0 t
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t

【別紙 2 - ②】

【目標】				
特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	特定有害アルカリ	特定有害廃酸	特定有害汚泥
全処理委託量	30 t	30 t	90 t	2 t
優良認定処理業者への 処理委託量	30 t	30 t	90 t	2 t
再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t